

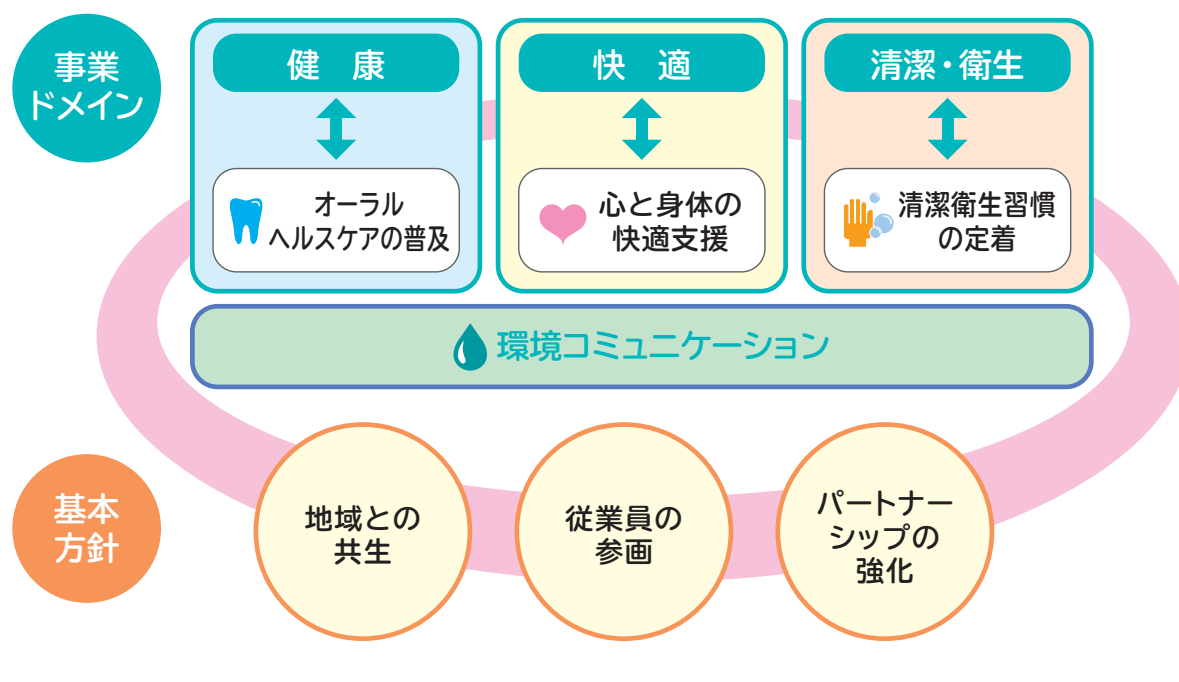
コミュニティへの参画および発展

基本的な考え方

当社は「事業を通じて社会に貢献する」という創業者小林富次郎の精神を受け継ぎ、一人ひとりの「心と身体のヘルスケア」の実現に向けて、健康、快適、清潔・衛生分野を通じてサステナブルな社会の発展および地球環境に貢献する活動に取り組んでいます。

また、当社の事業を継続するためには、事業所の所在地などゆかりのある地域との共生が必要である

ことから、地域の住民の方々や行政、市民団体などと連携をはかり、地域社会の課題解決に取り組んでいます。さらに、事業に関連した啓発活動に従業員一人ひとりが参画する機会を増やすことで、高い社会・環境意識をベースに新しい価値を生み出す人材の育成につなげます。



健康、快適、清潔・衛生分野

一人ひとりの「心と身体のヘルスケア」の実現に向けた商品・サービスの提供とともに、積極的にオーラルヘルスケアの普及・心と身体の快適支援・清潔衛生習慣の定着活動に取り組んでいます。

例えば、歯科医院などでの「プロケア（プロフェッショナルケア）」と毎日の「セルフケア」の両方を

【一人ひとりの「心と身体のヘルスケア」の実現に向けて】[URL](http://www.lion.co.jp/ja/csr/community/) <http://www.lion.co.jp/ja/csr/community/>

継続的に行う「予防歯科」推進活動や小学生を対象とした「全国小学生歯みがき大会」、マイスターを通じた快適支援活動、従業員が参加して実施する手洗い習慣普及活動などにライオングループ全体で取り組んでいます。

環境コミュニケーション

サステナブルな地球環境への貢献を目指し、環境コミュニケーションに取り組んでいます。

当社は「洗うこと」を通じて、常に水との深い関わりの中で事業を展開していることから、特に「水資

【環境コミュニケーション】[URL](http://www.lion.co.jp/ja/csr/social/) <http://www.lion.co.jp/ja/csr/social/>

源保護活動」に重点を置いています。山梨市での地域の皆様と従業員の共働による森林整備活動や、小中学生の水環境意識の啓発を目的とした「雨活アイデアコンテスト」などがあります。

健康で快適な生活習慣づくりにつながる社会貢献プログラムの充実

財団を通じたオーラルヘルスケアの普及活動

当社は、「企業活動で得た利益を社会に還元する」という創業当時から一貫した理念のもとに、1913年から口腔保健の普及・啓発活動を行ってきました。1964年に厚生省(当時)認可の財団法人ライオン歯科衛生研究所(LDH)を設立し、2010年には内閣府から公益財団法人への移行認定を受け、公益財団法人としてスタートしました。LDHは引き続き、日本歯科医師会、大学、行政などと連携しながら下記の3つの公益事業を通じ、生活者の歯と口の健康を保持増進し、すべての人々の生活の質の向上に結びつけられるよう口腔保健の最前線で社会に貢献しています。当社はその活動を全面的に支援しています。

LDHの3つの公益事業

1. 口腔保健普及啓発事業

すべてのライフステージでの口腔保健の普及啓発活動

2. 調査研究事業

健康寿命の延伸に向けた口腔保健の重要性に関わる調査研究ならびに各事業や活動を通じて得られた研究成果の専門家や生活者への情報発信

3. 教育研修事業

保健指導者や歯科専門家に対する各種セミナーや講演会を開催

[公益財団法人 ライオン歯科衛生研究所]

URL <http://www.lion-dent-health.or.jp/>



「全国小学生歯みがき大会」に参加した小学校

● 全国小学生歯みがき大会

1932年から続いている「全国小学生歯みがき大会」は、小学生を対象に毎年「歯と口の健康週間」の時期(6月4日~10日)に合わせて開催しています。2017年の第74回大会は、これまでのインターネット配信による全国一斉実施方式から、大会期間内(10日間)に参加校が実施日を設定し、DVD教材を視聴して参加する方式へ変更しました。2017年は、2,893校、約16万名の小学生が参加しました。日本だけでなくアジア各国・地域でも取り組んでいます。

参加小学生数 **累計 124万名**

● 2017年のLDHの主な活動



母子歯科保健活動

妊婦、乳幼児および園児とその保護者を対象に「歯と口の健康」を通じた子育て支援活動を実施。

参加者：乳幼児・園児 2,790名
保護者 377名

累計 114万6千名



学校歯科保健活動

児童・生徒や保護者に対する直接的な啓発活動と、保健指導者の活動に対する支援を実施。

参加者：児童・生徒 5,935名
保護者 162名
保健指導者 723名

累計 2,327万2千名



成人(産業)歯科保健活動

就業者を対象に、歯周病の予防と歯と口の健康の保持・増進に重点を置いた指導を実施。

受診者：21,271名

累計 209万2千名



高齢者歯科保健活動(2007年~)

いつまでも自分の歯と口で食べることができるように口腔機能の保持につながる支援を実施。

参加者：46,648名

累計 7万3千名



診療活動

リスクコントロール・デンティストリー*の考え方にに基づき、専門性が高く、質の高い診療および予防歯科活動を実施。

受診者：11,171名

累計 184万7千名

* [リスクコントロール・デンティストリー]

一人ひとりのむし歯や歯周病のリスクに応じてケアの方法を変えるオーダーメイドの歯科治療。

累計は財団設立(1964年)からの積算値

清潔衛生習慣の定着活動

当社は、生活者の皆様の健康・快適な毎日を目指して、『キレイキレイ』ブランドを中心とした正しい手洗い習慣の普及活動に取り組んでいます。

当社は「従業員が主体的に活動すること」を方針としており、2050年までには100%の社員が手洗い習慣普及活動に参加していることを目標としています。2012～2017年の間に851名の社員が参加しました(33%)。

また、同期間において、この活動に参加した園児数は約25,000名となっています。全国の事業所所在地、東日本大震災の被災地であり創業者のゆかりの地でもある宮城県石巻市、『キレイキレイ』ハンドソープの生産拠点である香川県坂出市などを主な活動地域とし、幼

稚園・保育所、公共施設などで手洗い習慣普及活動を行っています。また、お取引先様と連携した活動や若手社員の人事研修に幼稚園・保育所での手洗い習慣普及活動を組み入れ、社員の意識向上にもつなげています。さらに、『キレイキレイ』販売国であるアジア各国でも手洗い習慣普及活動を行っています。

行政との連携も推進しており、当社は2014年に、坂出市とハンドソープの生産拠点であるライオンケミカル(株)と連携して「キレイキレイのまち 坂出」プロジェクトを立ち上げ、継続的に坂出市民の清潔衛生習慣の浸透・定着を目指して活動を推進しています。

参加園児数 **累計 2万5千名**

・災害時の清潔健康ケアの取り組み

特に健康に留意することが重要となる災害時の清潔・健康ケア情報の提供にも取り組んでおり、「災害時の清潔・健康ケア」パンフレット・ポスターを作成・配布しています。

2017年より全国事業所所在地の地域の皆様に向けた啓発活動を行っています。今後も、清潔衛生習慣の定着に貢献します。



「災害時の清潔・健康ケア」パンフレット・ポスター
URL <http://www.lion.co.jp/ja/emergency-care/>

Webサイトのご紹介

オーラルヘルスケアの普及
<http://www.lion.co.jp/ja/csr/community/oral/>
清潔衛生習慣の定着
<http://www.lion.co.jp/ja/csr/community/washing/>



環境コミュニケーションの取り組み

当社は「洗うこと」を通じて、常に水と深く関わってきました。水資源保護活動としての森林整備活動、身近な水資源である雨水の活用の推進・啓発などに、積極的に取り組んでいます。

「ライオン山梨の森」森林整備活動

2006年から「ライオン山梨の森」で従業員の環境意識の醸成を目的に、水源である森林の整備活動を行っ



ています。2017年は新入社員研修と森林整備ボランティア(2回)に、のべ154名が参加しました。

参加従業員数 **累計 1,407名(のべ)**

【ライオン山梨の森】

URL <http://www.lion.co.jp/ja/csr/social/forest/>

「雨活アイデアコンテスト2017」の開催

全国の小中学生に、雨水の活用方法を考えることで水の大切さに気づいてもらうことを目的に、2011年から「雨活アイデアコンテスト」を開催しています。個人賞の



表彰のほか、優秀な作品を数多く応募していただいた小学校など2団体に団体奨励賞として雨水タンクの贈呈も

応募作品数 **累計 50,435作品**

【ライオン 雨の恵みひろば】

URL <http://www.lion.co.jp/ja/csr/social/rain/>

工場見学

工場見学はお客様と当社を結ぶ大切な接点のひとつと考えています。当社製品に親しみを持っていただき、安全・環境保全を第一とする操業状況をご覧いただくため、毎年多くの方に工場見学に来ていただいています。

2017年度 工場見学の 内訳	工場	千葉	小田原	大阪	明石	合計
	見学回数		89回	86回	50回	89回
見学者数		2,206名	1,936名	1,211名	2,320名	7,673名



大阪工場の工場見学の様子